

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月17日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270104245		
法人名	有限会社 厚生ライフ長崎		
事業所名	グループホーム鳴見ヶ丘		
所在地	長崎県長崎市鳴見町368 (電話) 095-840-1888		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	2007年9月14日	評価確定日	2007年11月5日

【情報提供票より】 (19年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年 11月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 2人, 非常勤 10人, 常勤換算 12人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての 2～3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	7,500+実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	100 円	昼食 400 円
	夕食	300 円	おやつ 50 円
	または1日当たり 850 円		

### (4) 利用者の概要 (4月 1日現在)

利用者人数	18名	男性 2名	女性 16名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	11名	要介護4	2名
要介護5	1名	要支援2	-名
年齢	平均 84.7歳	最低 78歳	最高 93歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	光風台病院	新港診療所	田尾内科	平野歯科
---------	-------	-------	------	------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは閑静な住宅地に隣接した高台に位置し、三階建ての建物の一階部分がデイサービス、二階・三階部分がグループホームといった環境にあります。ホームから眺める景色は、住宅のみならず自然の山々が見受けられ、開放感すら感じられます。ご利用者は静かな環境の中で、作品を作られたり、洗濯物を片付けられたりと思いいに過ごされています。ホームの管理者はユニット毎に配置され、管理者を中心にホームの理念にある「自尊心の尊重」を大切に考えられ日々の支援を心掛けられています。管理者の交代やスタッフの交代にともない運営上の課題は幾つか見受けられますが、その課題を認識し改善したいといった姿勢から、今後に期待したいホームです。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) <b>前回評価結果を踏まえた組織的改善活動が求められます。</b> 個別に確認すれば、改善された事項もありますが、改善への取り組みが組織的に展開されておらず、十分に活用されているとは言い難い状態です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) <b>評価の意義などについてスタッフと話し合う機会が必要です。</b> 自己評価は管理者が単独で行われており、スタッフへ浸透していない状況です。自己評価をスタッフと共に実施し出ている点や課題を共有することが大切です。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) <b>積極的な話し合いが実現されています。</b> 地域との連携については、防災や危機管理、行事への関わりなど、建設的な話し合いが展開されています。今後は会議の開催頻度について再検討が求められます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) <b>ご家族の意見を聴取し、意見に対する回答を確実に実施しましょう。</b> ご家族への声かけや説明は行われているとのことですが、ホームの運営等に関する意見の聴取やその反映の実績が見受けられません。ご家族の意見や苦情について聴取し易い環境を整え、意見等に対して必ずフィードバックする仕組みの構築から始める必要があります。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<b>運営推進会議をキッカケに地域連携が充実し始めています。</b> 運営推進会議で話し合われた議題から、地域の清掃活動への参加や防災への協力体制、ご利用者のゲートボールへの参加、ホーム行事への参加呼びかけなど、積極的な活動が行われ始めたところです。今後の活動に期待します。

(別紙2-2)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自尊心を大切にすると共に地域の中で穏やかに暮らす」を理念に掲げ実践されています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念について、ミーティング時等を活用し周知する取り組みが見受けられ、スタッフにも浸透していることがヒアリングにより確認できました。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の市民大清掃、老人会のゲートボール大会に参加されるとともにホームの秋祭り等行事への参加について近隣のスーパーに貼紙をするなど積極的な呼びかけが見受けられました。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価に関する事業所全体での取り組みや評価結果の活用実績は確認できませんでした。	○	評価の目的や意義を事業所全体で認識する取り組み、及び評価結果を有効に活用したサービスの質の向上に向けた取り組みを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については現在3回の実施実績があり、認知症及びホームの特性や役割を理解していただくための内容が議事録により確認できました。	○	今後は頻度及び議題を充実させ、より活発な意見交換の場となるよう努めて頂くことを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村主催の研修会には、管理者が積極的に参加されており、市町村担当者との連絡も必要に応じ取られていることがヒアリングにより確認できました。	○	事業を行っていく上での課題は、市町村担当者と協議すべき事項が多々存在すると思われま。事業所のみで抱え込まず、協働して問題解決に取り組んでいく必要性について検討いただくことから取り組まれては如何でしょうか。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	介護計画書の同意や3カ月に1回の「鳴見ヶ丘便り」は確認できましたが、面会時や行事参加時の口頭報告のみで定期的な報告が確実に行われている状態とは言えません。	○	定期の報告が確実に行えるよう仕組みを整える必要があります。文書による報告や経過記録の閲覧など工夫を凝らし、頻繁に訪問される方はもちろん、そうでない方にも定期的な報告が可能となるよう努めてください。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時の声かけなどにより働きかけは行われているようですが、日頃の業務に追われ十分な状況ではないようです。また、家族等の運営に関する意見を反映させた事例も確認できませんでした。	○	必要に応じたスタッフの勤務体制を見直し、家族等との情報交換が十分できる体制整備を期待します。また、聴取した意見は記録し、検討を行ったうえで確実にフィードバックできるように仕組みを整えることをご検討下さい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの交代が比較的多く馴染みの関係の構築にご苦労があるようです。新任のスタッフ紹介は、「鳴見ヶ丘便り」に掲載されていますが、離職者に関する情報発信は十分とは言えません。	○	離職者についてもご家族等に情報提供する仕組みが必要です。担当以外のスタッフも利用者・ご家族等にとっては無関係ではありません。離職の際の情報提供についてご検討下さい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等に参加されていることはヒアリングにより確認できましたが、スタッフの育成についての研修計画や研修の記録は確認できませんでした。	○	スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握し、教育計画を作成することが求められます。また、研修参加後は記録を残し、伝達研修や記録の回覧による共有化にも努めて頂くことを期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	毎月1回のグループホーム連絡協議会に管理者が主体となり参加されているようですが、その他の取り組みは確認できませんでした。	○	事業所間の相互見学などを実施したいと考えられていますが、まだ実行には至っておりません。積極的な取り組みにより、質の向上やスタッフのスキルアップにつなげる活動を期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に一度は見学や食事をホームで食して頂くように努めておられます。また、利用開始時には管理者が重点的に支援し、その後についても担当制により馴染みの関係の早期構築に努められています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理に関する事など、ご利用者から教えられることは多々あり、また、ご利用者から励まされることも多いようです。訪問時には、ご利用者からスタッフに対する労いの言葉も聞くことができました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中であるいはモニタリング時に意向の把握に努められており、申送りノートやモニタリングシート・介護計画書の記載の中でも確認はできましたが、十分とは言えないようです。	○	日々の気づきが積み上げられ介護計画の見直しなどに反映される仕組みを構築する必要があります。 また、意向を聴取した際に随時介護計画に反映させられる仕組みの構築をご検討下さい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ゲートボールへの参加や買い物などホーム以外の関わりが介護計画書で確認できました。介護計画はカンファレンスで決定されていますが、ご家族の関わりなどが十分とは言えないようです。	○	ご利用者の意向やご家族等の情報、スタッフの気づきなどを積み上げ、洩れなく介護計画作成の情報として活用させる仕組みの構築についてご検討下さい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月に一度、介護計画について評価し見直しが行われていますが、ご利用者の状態が落ち着かれていることもあり変更された事例は確認できませんでした。	○	定期的見直しのほか、日々の気づきを介護計画に反映される仕組みが必要です。必要に応じてではありますが、随時の見直しについてもご検討下さい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、通院介助や買い物など柔軟な支援が行われています。また、同一建物内ではデイサービスが提供されています。	○	併設のデイサービスとの連携についても色々な可能性をご検討されることを推奨します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の殆どが利用前のかかりつけ医となっており、かかりつけ医との情報交換の記録も確認できました。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ユニット1 (2F) では、終末期について、同意書は確認できるものの形骸化しているようであり、現状に即していないようです。また、ユニット2 (3F) では、それらについて確認できるものは整備されていない状況です。	○	事業所として現状を踏まえた上で、方針を明確にし、仕組みを構築する必要があります。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	衛生上の面からタンスや押入れの確認など家族の了解を得て行っているが、徹底されていない面もあるとのこと。新入スタッフには倫理について教育を行っているとのことですが、言葉遣いなど徹底できていない面が見受けられました。	○	言葉遣いについては、ご家族等がどう感じられるかの配慮も必要です。また、個人情報保護法についても理解を深められることを推奨します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、就寝時間や起床時間など比較的自由にされているとのこと。基本的には、ご利用者様の個々のペースに応じた支援を行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を目に付くところに置き、ご利用者のヤル気を促す工夫がなされており、訪問調査時には、ご利用者とスタッフが下ごしらえから後片づけまで協働されている姿が確認できました。食事中は、ご利用者同士やスタッフを交えた会話が弾んでいました。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は日中であれば毎日可能であり、ご利用者の希望に応じて支援されております。異性が介助する場合は、介助中に同性スタッフが声かけを行われています。	○	夜間対応についてもスタッフ配置を踏まえた検討を行いたいとのことでした。異性介助については、ご利用者やご家族の心理面も踏まえて再検討されることを期待します。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事に関する役割など実際の活動の中で確認できましたが、男性のご利用者の役割などについては確認できませんでした。また、ご利用者の生活歴や職業歴などを取りまとめた記録等も確認できませんでした。	○	生活歴や職業歴、趣味などをスタッフ間で共有する仕組みを構築し、日々の支援に活かす取り組みを期待します。
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の希望に添った支援を心掛けているが、スタッフ数との関係で十分とは言えない状況との事です。	○	日常的な外出支援が行える体制整備を期待します。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の構造上、安全面への配慮から利用者の状況に応じて取り組まれており、ユニット1(2F)では、日中でも施錠されており、ユニット2(3F)では夜間のみ施錠されています。	○	ご利用者の状態や立地、建物の構造など様々な問題は、ソフト面(スタッフの気付きなど)で対応できるようスタッフ間で検討されることを期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の消防訓練を実施されています。また、地域への協力依頼も行われています。しかし、食料品の備蓄や災害時の必要品などの準備は十分ではありません。	○	食料品の備蓄や必要品の準備など様々な災害を想定した対策が必要です。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立については併設のデイサービスの栄養士に確認してもらっているとのこと。摂取量については毎回チェックされ記録に残されています。献立をご利用者に決定前に確認頂く等、希望に副う取り組みも見受けられました。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁には季節に応じたご利用者の作品が掲示されており、生活の場としての雰囲気をかもしだされています。共有空間には折り紙や本を配置され思い思いに活動できるよう配慮がうかがえます。	○	ユニットをつなぐ階段の踊り場に設置してある灰皿は業務用であり家庭的な雰囲気が感じられません。ご利用者の喫煙状況から見て家庭的なものをご利用の都度準備するなど考慮されることを期待します。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には特に制限を設けられておらず、位牌や書籍などの持ち込み品が見受けられました。	○	今まで以上に、馴染みのものを持ち込んで頂けるよう、ご家族等に促していきたいとのことでした。

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。